

事前の意見照会等を踏まえた主な修正内容について

優先的に取り組む事項

重点 2 若者のライフデザイン形成への支援

- (1) 主な取組に、「施策の体系」にある「若者同士が交流し、情報共有できる機会の提供」などを追加してはどうか。
→ 上記取組を追加
- (2) 柱 2 の文章中「社会を形成する主体（パートナー）として若者を認めたうえで」の記載が上から目線に見える。
→ 「若者を認めたうえで」を削除
※ 「提言」の文案 6 においても同様の修正

重点 4 特別な支援を要する子ども・若者やその家庭への支援

- ・ 京都市において、ひきこもり支援を強化していく方針を表明
→ 柱 3 の主な取組に「切れ目ない支援」の実現に向けたひきこもり支援の充実」を追加
※ 「施策の体系」においても追加

施策の体系

1－(1) 母子保健

- ・ イの文章中「子育ての身近な支援者である夫（パートナー）」との記載は、子育ての主体は母親であることの押し付けとも読み取れるため、「支援者」ではなく、母親とイブンであることを示す表現が適切ではないか。
→ 「身近な支援者」を「身近な存在」に修正

1－(4) 子どもの教育環境

- ・ イの主な取組に、「「チーム学校」としての取組」を追加してはどうか。
→ 次の取組名称に要素を追加（下線部分）
「教員が子どもと向き合うことができる環境づくりの推進（事務補助や多様な専門職等との協働による「チーム学校」としての取組，ICT活用等による効率的な研修推進など）」

1－(7) 若者の自己成長と社会参加

- ・ 箱書きの文章中「若者が生き抜く」との記載は現代の若者の感覚からずれた表現ではないか。
→ 「若者が生き抜く」を「若者が活躍する」に修正